

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	12 (14)	9
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	6	10 (11)	5
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	1 (2)	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (2)	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* 先週の、その他の2件増は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第6週(2月8日~2月14日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					3		
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2							2
四類	1	E型肝炎	1					1		
五類	2	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1						
		梅毒	1							1
新型インフルエンザ等感染症	62	新型コロナウイルス感染症	62	9	4	1	0	26	5	17

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. 新型コロナウイルス感染症

第6週に合計26件の報告がありました。
 感染者数は減少していますが、散発的にクラスターが発生しています。引き続き、健康管理に注意し、外出機会の削減、マスク着用や手洗い、「3密」の回避などの基本的な感染対策を徹底し、緊急事態宣言地域への不要不急の往来は控えましょう。また、発熱や咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)TEL: 082-241-4566に連絡・相談しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり4.25人の報告がありました。報告数は例年同時期と比べて少なく推移していますが、1月以降増加傾向が続いています。手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



第3次 新型コロナ感染拡大防止集中対策実施中！！

詳細については、広島県ホームページ「第3次 新型コロナ感染拡大防止集中対策【令和3年2月8日～2月21日】」(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-hiroshima-3.html>)からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	34.07			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.14		
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.23			眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.31		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	0.92	2.37				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	102	4.25	6.43			基幹	流行性角結膜炎	2	0.25	0.55		
	水痘	1	0.04	0.44				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	4	0.17	0.12				無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	-	-	0.39				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17		
	突発性発しん	5	0.21	0.29				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.02				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.54		

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	14	40歳代、80歳代、90歳代
4	E型肝炎	1	1	80歳代

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患	発熱(40.0℃) 紅斑 咽頭炎 嘔吐 下痢 リンパ節腫脹	1	2020/11/14	咽頭拭い液 糞便	Aデノウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載